

● 新座駅周辺

新座駅周辺における土地区画整理事業[※]等の推進により、交通結節点[※]としての機能を高めるとともに、駅近接地に利便性を備えた中・高層建築物等の計画的な誘導を図ります。また、市内の観光資源を活用したフィールドミュージアム[※]の玄関口として、野火止用水敷や緑道等を活用した歩行者空間の確保、景観計画[※]や地区計画[※]等によるまちなみ景観の演出と環境にやさしい低炭素型まちづくり[※]も考慮しつつ、拠点地区としてふさわしい活力とにぎわいのある空間の創出を図ります。

● ひばりヶ丘駅周辺

都市計画道路[※]3・4・13ひばりヶ丘・片山線等を軸とした周辺一帯の地区については、隣接する東京都西東京市によるひばりヶ丘駅の商業中心拠点としての都市機能の充実と併せて、都市拠点としての防災面や交通面の充実を図ります。

● 都市高速鉄道12号線[※]延伸構想地区（新都市拠点）

本市は、北部と南部を通る東武東上線、西武池袋線の駅周辺を中心に市街化が進み、市街化調整区域[※]を含む中央部のまちづくりが課題となっています。そのため、市域全体のバランスの取れた都市構造の実現に向け、市中央部における公共交通不便地域の解消を目的とした都市高速鉄道12号線[※]の延伸実現を目指し、新たな都市拠点の整備を想定したまちづくり構想の策定を進めます。

なお、次期交通政策審議会[※]の答申後は、その内容に応じた具体的なまちづくりへの取組を進めることとします。

ゾーン

ゾーンは、今後、重点的に整備又は保全を図っていくべき地区を設定したものです。

● まちづくり検討ゾーン

本市の中央部におけるシンボルとなる地区として、本計画における基本理念にあるみずとみどりに恵まれた心地よいまちを目標に、新たなまちづくりを行うゾーンとして位置付けます。このゾーンでは、緑地ゾーンやグリーンプロムナード[※]を取り込んだ環境重視型の市街地整備を基本とし、商業・業務施設、道路等の整備に加え、多様な機能を持った複合施設「（仮称）ふるさと新座館」の建設を行い、「ふるさと新座」の魅力を伝えられる交流拠点としての機能の充実化を進めます。

また、このゾーンの大半を占める市街化調整区域[※]においては、自然環境との調和に配慮しつつ、有効な土地利用への誘導を進め、特に国道254号沿道の大和田二・三丁目地区においては、土地の需要等を踏まえ、土地区画整理事業及び都市計画道路の整備により、工業・商業施設を誘致する等産業系土地利用への転換を図ります。

また、市の中央部を縦断している関越自動車道には乗降口がないことから、観光振興の促進等を図るため、スマートインターチェンジ[※]の設置に向けた研究を引き続き行っていきます。

さらに、東京都練馬区大泉学園町までの事業化が決定されている都市高速鉄道12号線[※]の延伸促進活動等を行い、中央部にふさわしい、都市的利便性の確保を図るものとします。